

地域精神保健福祉を学ぶ市民の会

第3回 <映像を見る会・語る会>

孤立大国ニッポン ～私たちは何をすべきか～

本日の主題 ⇒ 孤立

2021年4月4日(日) 9:00～12:00
大網白里市中央公民館 1階 講義室

本日の予定

1. ご挨拶（本日の主題「孤立」）（05分）
2. ご参会者の自己紹介（10分）
3. TVシンポジウムの視聴（60分）
4. 休憩（10分）
5. フリーディスカッション（90分）
6. 次回のご案内（05分）

「孤立」と精神障害者の「リカバリー」

「世界一孤独な国」とも言われるニッポン。孤立死、ひきこもり、ごみ屋敷など、人と人とのつながりが希薄化し、社会から孤立して暮らす人が、あらゆる世代に多くいます。

一方で、地域コミュニティに人のつながりを取り戻し、孤立する人を救い出す活動も全国各地で始まっています。

どうすれば、誰もが孤立せずに安心できる地域を作れるか!!

先進的な孤立対策を進める実践者と学識経験者が“社会的孤立”の解消に向けて話し合ったTVシンポジウムを1時間視聴し、その後「孤立」を巡って<精神障害者のリカバリーの視座をも交えて> 90分間ディスカッションを行います。

TVシンポジウム

TVシンポジウム 孤立大国ニッポン～私たちは何をすべきか～

Eテレ 2018年12月15日(土) 午後2時00分～2時59分

＜登壇者＞ 神野直彦(日本社会事業大学学長)
勝部麗子(豊中市社会福祉協議会)
谷口仁史 (スチューデント・サポート・フェイス代表理事)
近藤恒夫 (日本ダルク代表)

大国ニッポン
ちは何をすべきか

ごみ屋敷

孤立死

薬物依存

自殺

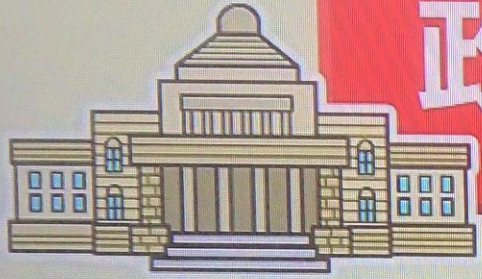
社会的孤立

虐待

不登校

ひきこもり

孤立大国ニッポン
私たちは何をすべきか



政治システム

機能不全



社会システム

家族・地域・生活

教育 医療 介護 福祉
ボランティア活動など

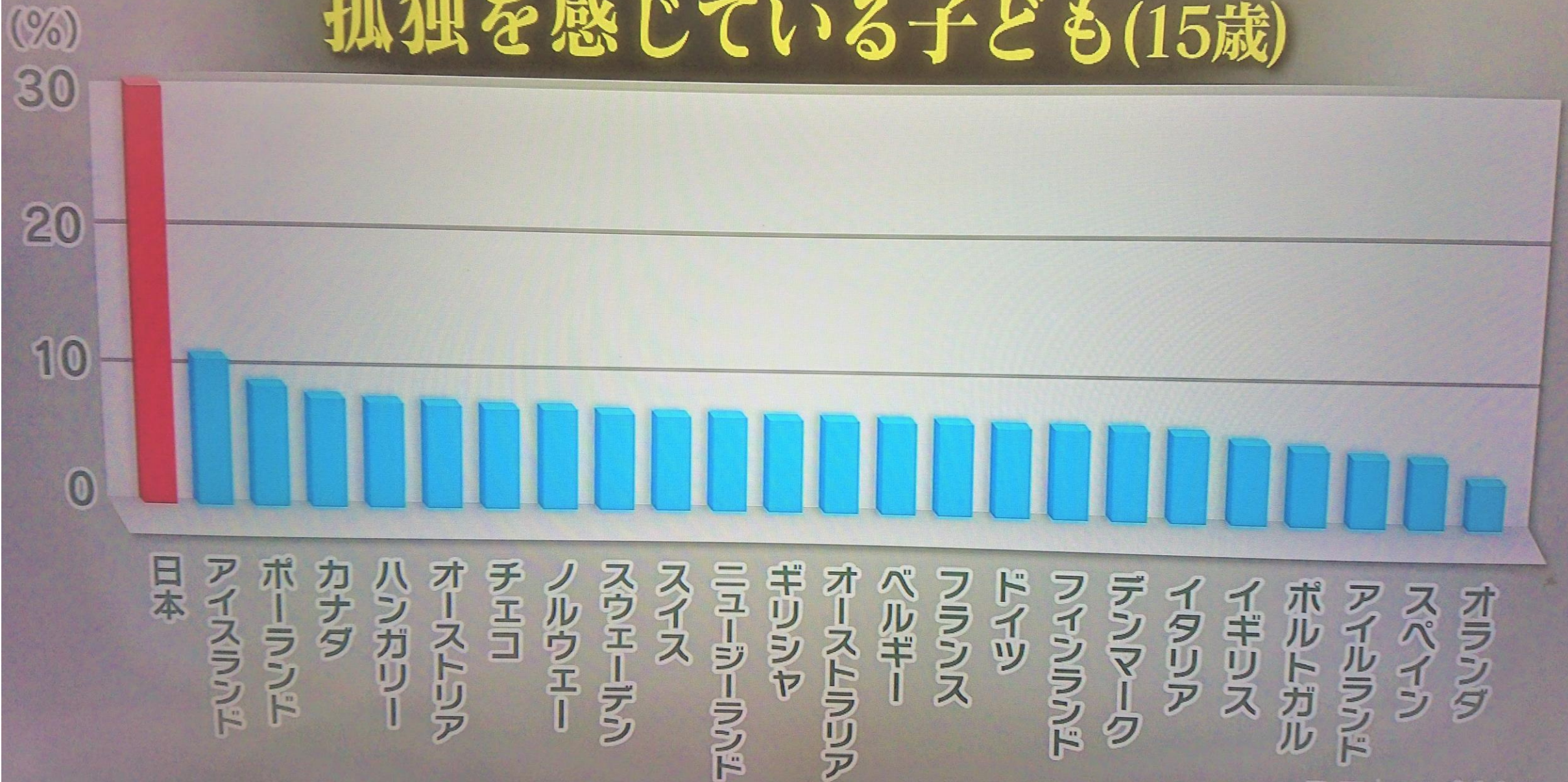
経済システム

仕事

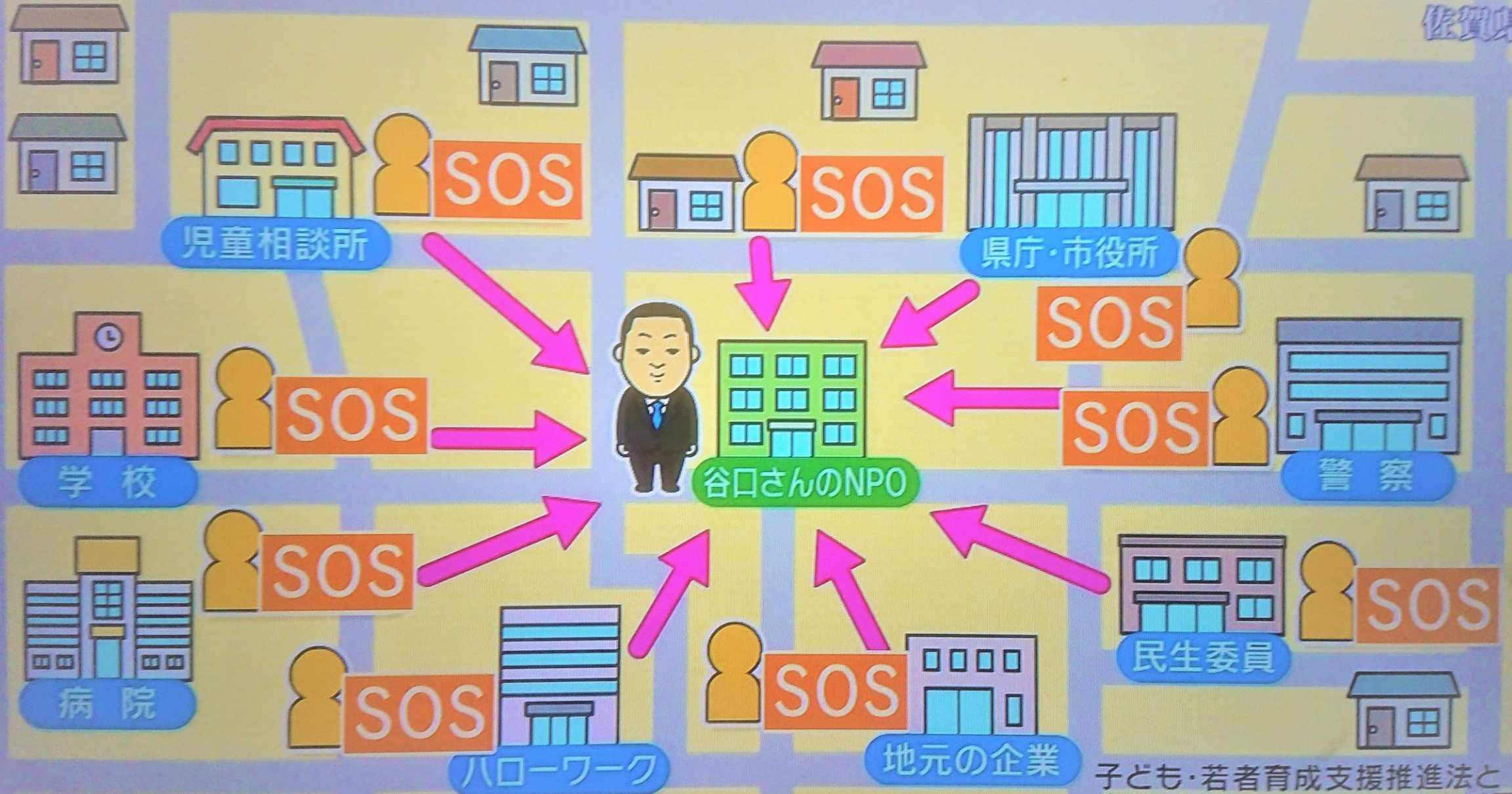
企業 工場など



孤独を感じている子ども(15歳)

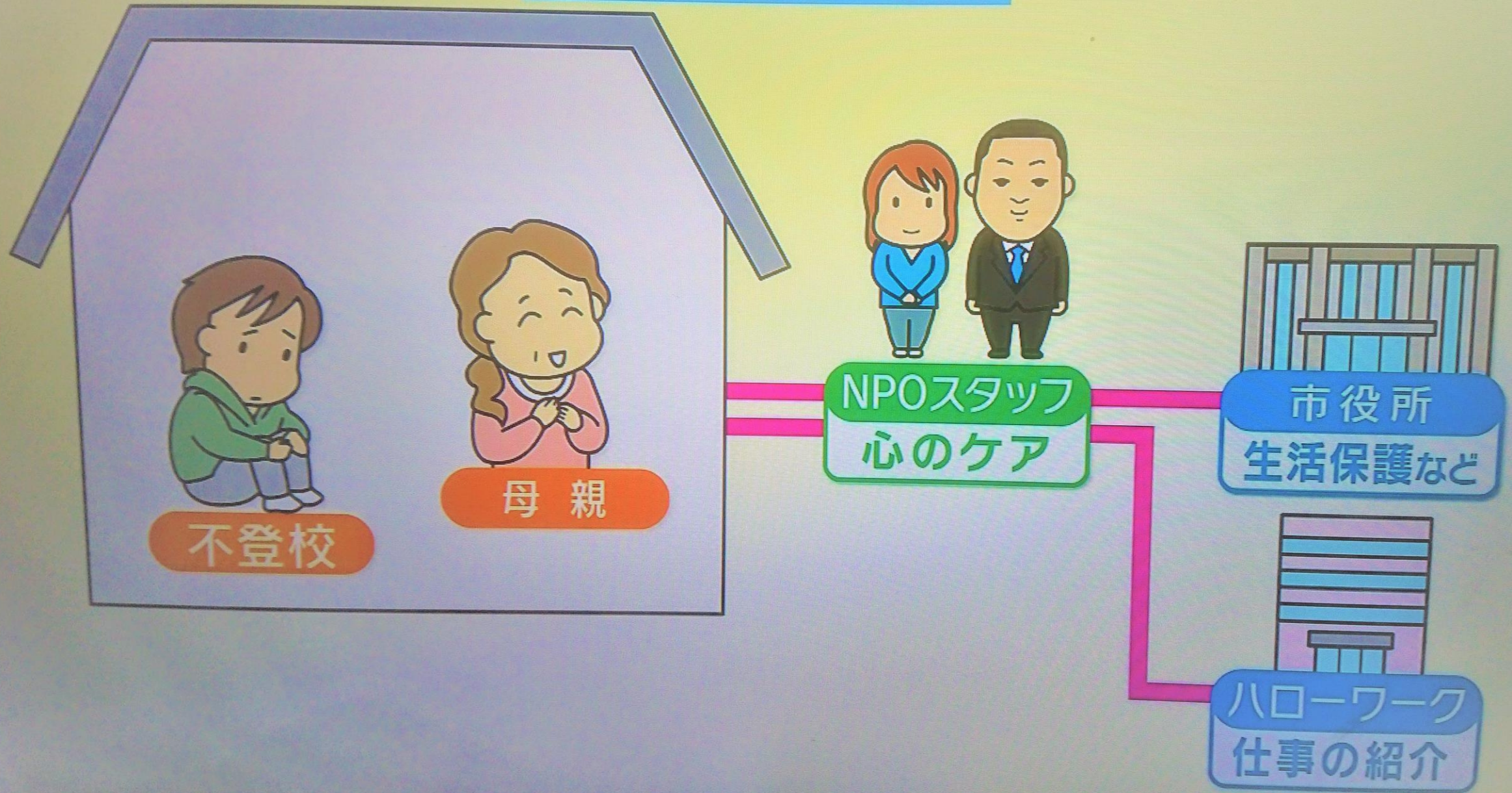


どんな境遇の子どもも見捨てない
佐賀県

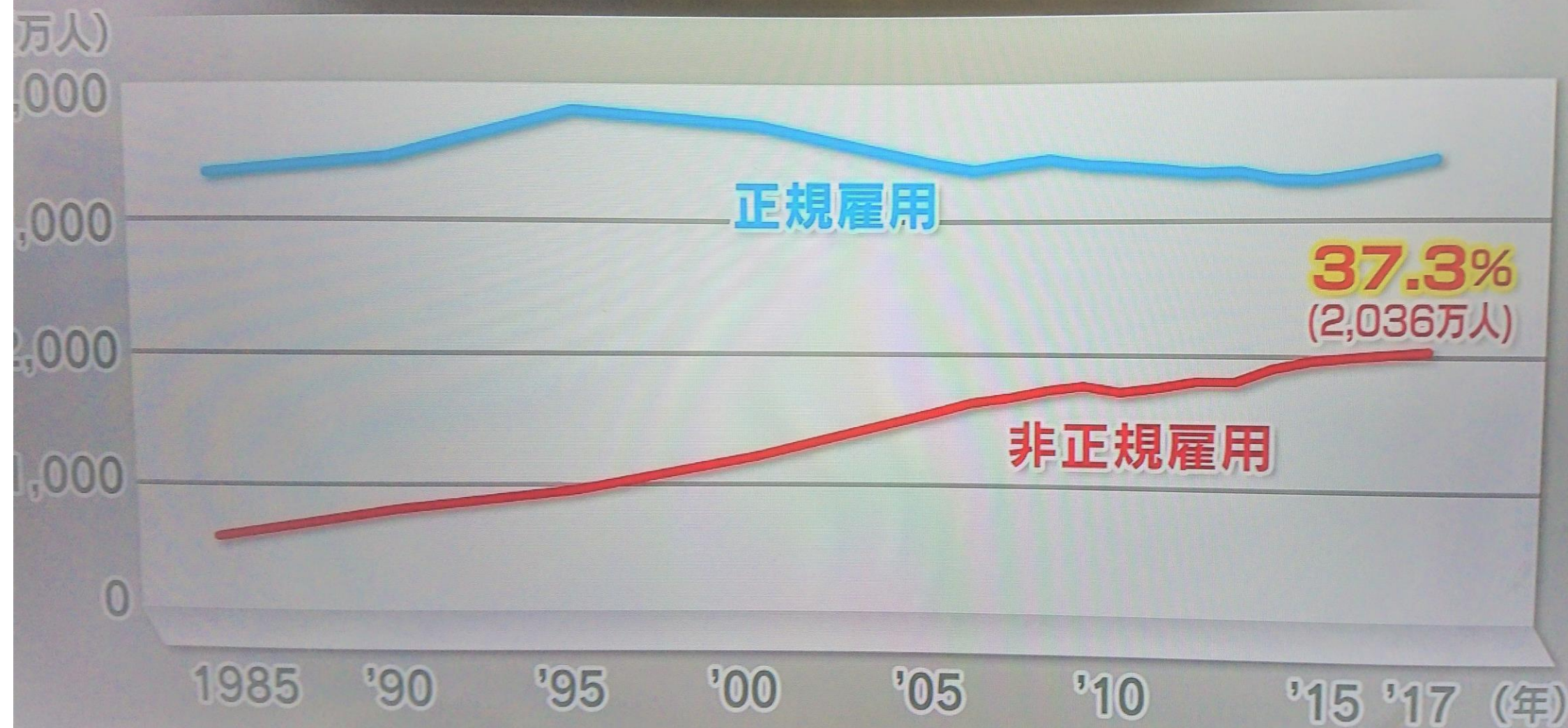


子ども・若者育成支援推進法と
生活困窮者自立支援法等を活用

母子世帯の場合



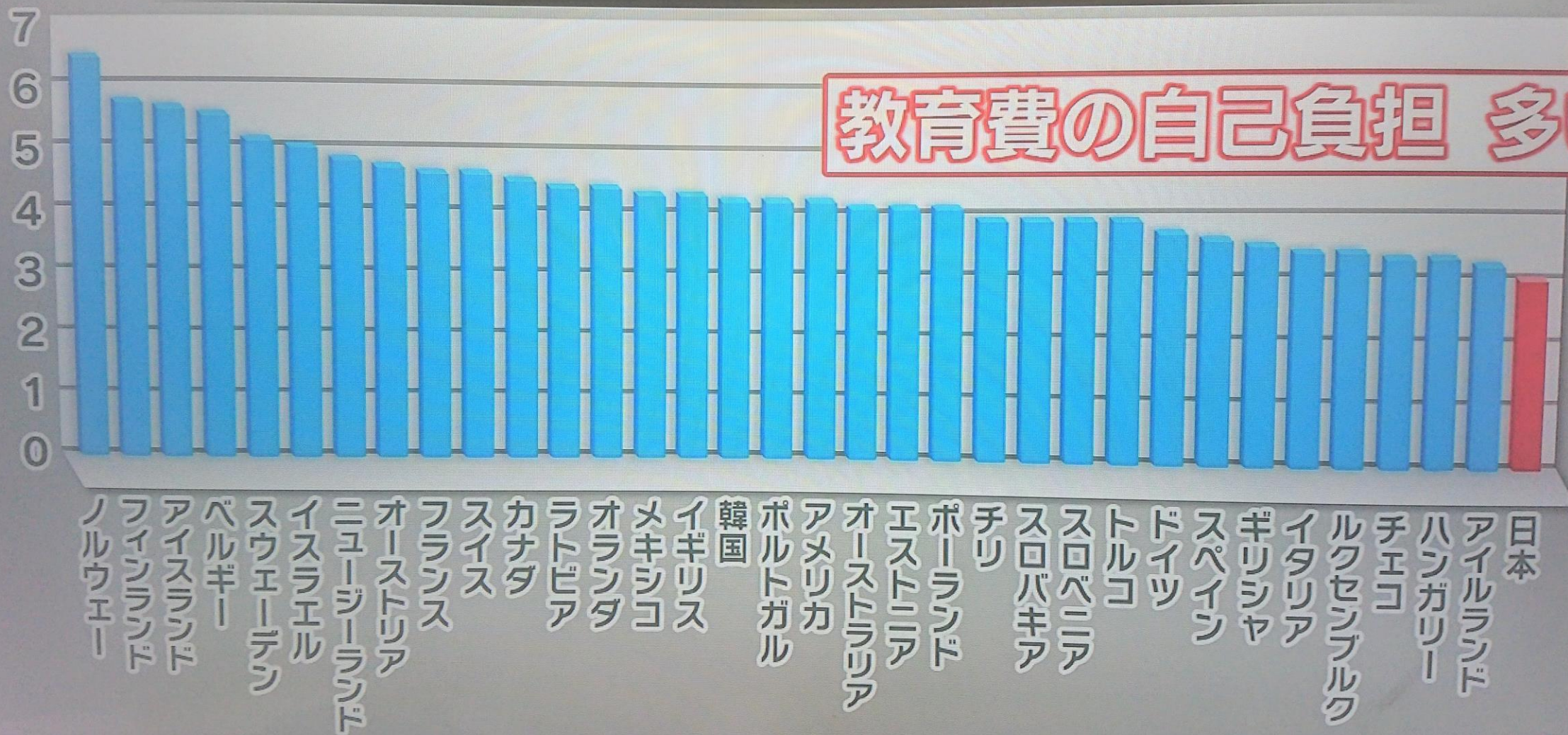
正規・非正規雇用者数



教育機関への公的支出(対GDP比)

(%)

教育費の自己負担 多い



孤立から陥る薬物依存 回復への道
日本ダルク



全国60か所以上
利用者 のべ10万人

日本の司法制度



出所

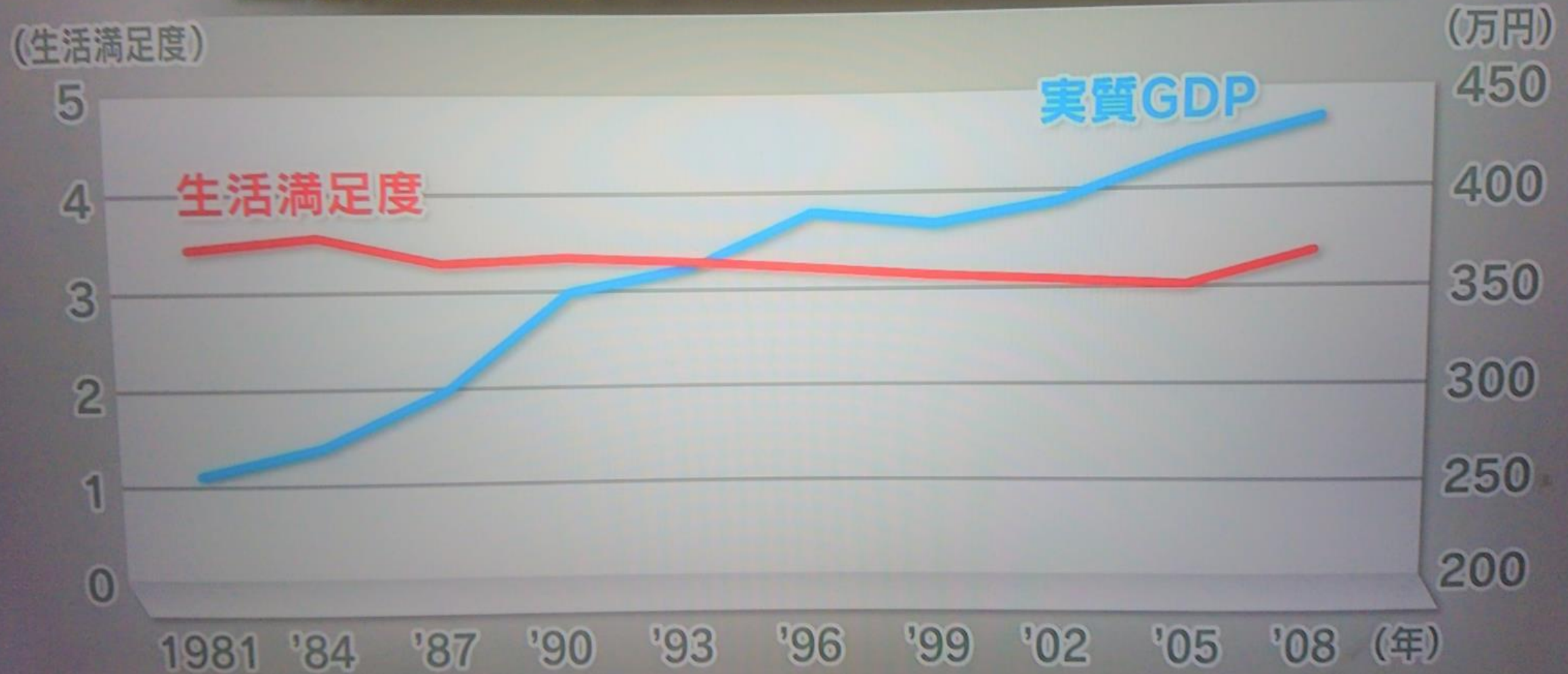


新しい提案

回復プログラム



生活満足度と1人当たり実質GDP



精神障害者の社会的孤立の背景

彼等の孤立を救う方策はあるのか…

リカバリモデルとは
どのようなモデルなのか

孤立からリカバリーへ

リカバリーの視座から

私たちには

どのような地域づくりが可能か

終わりに

地域精神保健福祉を学ぶ市民の会
のご案内

三本の柱によって

地域精神保健福祉の理解者を育てる小さな福祉塾です

1. 読書会（毎月）

2. 市民の会交流会

～ 自らの生の軌跡を語る語り手の深い思いを聴き取る会
（隔月）

3. 映像を見る会・語る会（隔月）

学びたい方はどなたでも学ぶことができます。

本日はご参会戴きまして
ありがとうございました。

主催者一同